

様式第1号

令和元年 7月 22日

北海道知事
鈴木直道 殿

学校法人 上村学園

理事長 守本 朝美

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	北見美容専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <u>専門学校</u>)
大学等の所在地	北海道北見市花月町17番15号
学長又は校長の氏名	守本 朝美
設置者の名称	学校法人 上村学園
設置者の主たる事務所の所在地	北海道北見市花月町17番15号
設置者の代表者の氏名	守本 朝美
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://k-bc.ac.jp/

大学等における修学の支援に関する法律(以下「大学等修学支援法」という。)第7条第1項の確認を申請します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点(☑)を付けて下さい。

- この申請書(添付書類を含む。)の記載内容は、事実と相違ありません。
- 確認を受けた大学等は、大学等修学支援法に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。
- 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	守本朝美	0157-24-3604	am-beauty123@amail.plala.or.jp
第2号の1	金谷一恵	0157-24-3604	k-beauty@rainbow.plala.or.jp
第2号の2	守本朝美	0157-24-3604	am-beauty123@amail.plala.or.jp
第2号の3	守本朝美	0157-24-3604	am-beauty123@amail.plala.or.jp
第2号の4	守本朝美	0157-24-3604	am-beauty123@amail.plala.or.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	北見美容専門学校
設置者名	学校法人 上村学園

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	58,251,658円	65,020,261円	△6,768,603円
申請2年度前の決算	68,565,484円	69,635,694円	△1,070,210円
申請3年度前の決算	61,813,115円	79,559,515円	△17,746,400円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産－外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	99,683,233円	15,630,804円	84,052,429円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	80人	30人	37.5%
前年度	80人	42人	52.5%
前々年度	80人	48人	60.0%

(IIの補足資料) 「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○ 「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
現金		17,595円
普通預金		9,810,802円
定期預金		89,854,836円

○ 「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
未払金		17,565円
前受金		13,969,331円
		円

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北見美容専門学校
設置者名	学校法人 上村学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配置 困難
専門課程	美容本科		900時間	160時間	
		夜・ 通信			
		夜・ 通信			
		夜・ 通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://k-bc.ac.jp/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北見美容専門学校
設置者名	学校法人 上村学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://k-bc.ac.jp/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	長谷川 孝義（美容業）	2019.6～ 2020.5	美容教育への適切な助言と学校運営への責任ある関与
非常勤	上村 重貴（開業医）	2019.6～ 2020.5	〃
非常勤	真野 佐智子（美容業）	2019.6～ 2020.5	〃
非常勤	寺田 知子（前 職員）	2019.6～ 2020.5	〃
非常勤	酒井 厚子（前 美容業）	2019.6～ 2020.5	〃
非常勤	奥澤 美喜子（美容業）	2019.6～ 2020.5	〃
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北見美容専門学校
設置者名	学校法人 上村学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教科科目、授業時数(単位時間)は美容師養成施設指定規則第3条一項八により本校学則第8条に規定され、「専修学校概要」(北海道私立専修学校各種学校連合会発行)に記載</p> <p>成績評価の方法、基準は本校「専門課程の成績評価と卒業認定に関する規程」による。</p> <p>授業計画は3月、翌年度の担当教員と週当たりカリキュラム、各学期ごとの時間数を確認</p> <p>1年次で教科書の履修を終える事を目標に、学期ごとの教科内容の配分は教員の判断に任せる。</p> <p>2年次は単位時間が終了していても、資格試験の筆記試験に向かって1年次と同じく中間・期末試験を行い成績・順位をだす。</p>	
授業計画書の公表方法	https://k-bc.ac.jp/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>成績評価の方法、基準は本校「専門課程の成績評価と卒業認定に関する規程」による。</p> <p>各試験ごとに成績を教室と玄関ホールに公開する。 毎学期、保護者に郵送報告する。</p> <p>筆記試験 中間・期末試験ごとに総合点により順位を発表。 実習試験 各技術試験ごとに採点者3名以上の採点を平均して数値化、 全員の試験結果一覧を発表。</p> <p>時間単位制をとっているため、朝礼、昼休み終わり時、終礼で出欠を確認している。</p>	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>毎学期の筆記試験の合計の分布状況を50点きざみで集計し総合順位も出す。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://k-bc.ac.jp/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校「専門課程の成績評価と卒業認定に関する規程」による。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://k-bc.ac.jp/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北見美容専門学校
設置者名	学校法人 上村学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://k-bc.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	https://k-bc.ac.jp/
財産目録	https://k-bc.ac.jp/
事業報告書	https://k-bc.ac.jp/
監事による監査報告（書）	https://k-bc.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間	650 単位時間	40 単位時間	1730 単位時間	80 単位時間	
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	30人	0人	6人	7人	13人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバスによる
成績評価の基準・方法
（概要） 専門課程の成績評価と卒業認定に関する規程」 による
卒業・進級の認定基準
（概要） 専門課程の成績評価と卒業認定に関する規程」 による
学修支援等
（概要）各教科ごとにサブノートと問題集を製作、提出させて確認している。 資格筆記試験科目は単位終了後も毎週（2年生）演習時間を設けている。 技術練習は放課後、毎日、教職員が校内にいる時間は可能としている。 各学科・実技試験では認定基準に満たない場合「追試験」を受け、更に「補習」を受けさせる

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22人 (100%)	0人 (%)	21人 (95.5%)	1人 (4.5%)
(主な就職、業界等) 美容業(美容室 ネイルサロン)			
(就職指導内容) 1年生三学期就職ガイダンス 春休みに保護者アンケート 2年生4月三者面談 サロン説明会の開催			
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師受験資格 着物着付師(初中伝・奥伝) 花嫁着付師 JNAネイリスト3級・2級検定 ジュニアアイデザイナー検定			
(備考) (任意記載事項) 就職先の多様化が進んでいる。同じ美容関係事業ではあるが、 ヘア技術を中心とした事業所だけではなくなっている。まつ毛エクステ専門、 ブライダル中心、ネイルサロン等を真っ先に希望する学生が多くなっている。			

中途退学の現状		
30年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	2人	5%
(中途退学の主な理由) 人間関係 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 任制により常に保護者と連絡を密にとっている。 特に遅刻欠席は必ず保護者からの連絡が前提である。 授業参観日を設け保護者と個別面談をする。 中退希望者には「休学」により「復学」の道を残して、年度末には連絡確認をする。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容本科	70.000 円	630.000 円	360.000 円	研修旅行費、課外コース別途
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
待生・準特待生制度 遠距離進学応援制度 学費分納制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://k-bc.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 地元の関係業界団体の代表2名に学校評価関係者評価委員を委託 学校長、教職員代表と年に一回以上教育活動と結果や自己評価について検証し、 今後の具体的取組みや継続的改善への提言と協力を期待する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
北見美容協会会長	協会長 任期	地元の関係業界団体の代表
S P C グローバル北海道 旭川本部 本部長	本部長 任期	地元の関係業界団体の代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://k-bc.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP : https://k-bc.ac.jp/ 2020 GUIDBOOK (本校) 専修学校概要 (北海道各種学校専修学校連合会発行)
--

授業科目等 シラバス

(専門課程 美容本科) 平成31年度

分類			授業科目名	授業科目概要と到達目標	配当年次	授業時数	成績評価	授業方法			教員		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	専任	兼任	実務経験の有
○			関係法規・制度	美容師法を中心に、美容業に係わる法令や制度を学ぶ。資格の社会的責任を自覚させ、行政処分、罰則について理解する。	1・2	35	中間・期末	○				○	
○			衛生管理	公衆衛生・感染症の知識を学び見識を高める。日常業務に必要な消毒の意義・目的及び実際の消毒方法について覚えさせる。	1・2	95	中間・期末	○					○
○			保健	人体の構造・機能について学ぶ。皮膚と毛髪などの付属器官の構造及び生理機能は美容業務にとって不可欠と理解させる。	1・2	100	中間・期末	○				○	○
○			化粧品化学	化粧品に使用される原料、使用目的を知らしめる。その定義、法的根拠、安全性などを学び社会的な意義を理解させる。	1・2	66	中間期末	○					○
○			文化論	理美容業の成り立ち・歴史から今後の課題まで考えさせる。各時代のファッションと理美容の関係を理解させる。	1・2	60	中間・期末	○					○
○			運営管理	美容業経営に経営戦略、資金管理、労務管理等が必要であることを学ばせる。経営における接客の意義を知らせる。	1・2	30	中間・期末	○					○
○			美容技術理論	美容業に認められている技術の基礎理論(目的・方法・効果など)を実習に即して学ばせる。	1・2	150	中間・期末	○					○
○			美容実習	美容師として必要な技術の基本動作を身に付け、応用・展開まで理解し完成出来るように訓練する。	1・2	1050	中間・期末	○		○		○	有
合計						8科目	1586単位時間(単位)						

学校法人上村学園 理事及び監事名簿

(理事)

令和1年5月

氏名	職業	住所	学外者
守本朝美	校長	北見市花月町18番地16	
上村和子	美容業	北見市山下町3丁目1番7号	○
真野佐智子	美容業	北見市とん田西町378番地1	○
長谷川孝義	美容業	札幌市豊平区西岡1条3丁目16番26号	○
酒井厚子	美容師	網走市南4条西4丁目9番地の1	○
寺田知子	美容師	北見市緑町5丁目6番23号	○
奥澤美喜子	美容業	北見市美芳町1丁目5番4号ひかりハイツ	○

(監事)

氏名	職業	住所	学外者
寺田力	無職	北見市緑町4丁目2番14号	○
今野敏明	美容業	北見市双葉町1丁目1-4	○

時 間 割 2019年度

	月	火	水	木	金	土
1	美容理論	衛生管理	美容実習	関係法規	美容理論	補講・補習日
2	美容実習	〃	〃	美容実習	美容実習	
3	〃	美容実習	香粧品化学	〃	〃	
4	〃	〃	文化論	〃	保健	
5	〃	保健	接客心理	美容理論	美容実習	
6	〃	美容実習	ヘアデザイン画	美容実習	〃	
7	〃	〃	〃	〃	〃	

授 業 時 間 表

朝礼	8:50
1	9:00 ~ 9:50
2	9:55 ~ 10:45
3	10:50 ~ 11:40
4	11:45 ~ 12:35
昼休み	12:35 ~ 13:15
5	13:15 ~ 14:05
6	14:10 ~ 15:00
7	15:05 ~ 15:55
放課	16:00
掃除	16:00 ~ 16:15

2019年度

学校行事及び年間授業時数計画書

北見美容専門学校

日/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		備考
1	月	水 即位の日	土	月 セミナー	木 通信17期	日	火	金	日	水 元旦	土	日	1	
2	火	木 休校	日	火 休校	金 "	月	水 休校	土	月 期末テスト	木	日	月 2年生振替休み	2	
3	水	金 憲法記念日	月	水 期末テスト	土	火	木 教職員研修会	日 文化の日	火 "	金	月	火 "	3	
4	木	土 みどりの日	火	木 "	日	水	金 のため休校	月 振替休日	水 "	土	火	水	4	
5	金	日 こどもの日	水	金 "	月 "	木	土	火	木 "	日	水	木	5	
6	土	月 振替休日	木	土	火 "	金	日	水	金 "	月	木	金 第53回卒業式	6	
7	日	火 通信16期	金	日	水 "	土	月	木	土	火	金	土	7	
8	月	水 "	土	月 "	木 "	日	火	金	日	水 2年始業式	土	日	8	
9	火	木 "	日	火 "	金 "	月	水	土	月	木	日	月	9	
10	水 始業式	金	月	水	土	火	木	日	火	金 成人のお祝い	月	火	10	
11	木 第54回入学式	土	火 通信16期	木	日 山の日	水	金	月	水	土	火 建国記念日	水	11	
12	金 オリエンテーション	日	水 "	金 初・中伝査定	月 振替休日	木	土 リハーサル	火	木	日	水	木	12	
13	土	月	木カラー講習2年	土	火	金	日 ページェント	水	金	月 成人の日	木	金 終業式	13	
14	日	火	金 " 1年	日 研修旅行(1・2年)	水	土	月 体育の日	木	土	火 1年始業式	金	土	14	
15	月	水	土	月 "	木	日	火 振替休み	金	日	水	土	日	15	
16	火 通信16期	木	日	火 "	金	月 敬老の日	水	土	月	木	日	月	16	
17	水 "	金 スポフェス	月	水 振替休み	土	火	木	日	火	金	月 学年末テスト	火 理事会	17	
18	木	土	火 理事会	木 "	日	水	金	月	水	土	火 "	水 通信17期	18	
19	金 初・中伝開始	日	水	金	月 始業式	木カラー講習1年	土	火	木	日	水 "	木 "	19	
20	土	月	木	土	火	金 " 2年	日	水	金 終業式	月	木 "	金 春分の日	20	
21	日 ネイル3級検定	火	金	日	水	土	月 中間テスト	木	土	火	金 "	土	21	
22	月 2年生振替休み	水	土	月 通信16期	木	日	火 "	金	日	水	土	日	22	
23	火	木 メイク講習2年	日	火 "	金 選択コース開始	月 秋分の日	水 "	土 勤労感謝の日	月	木	日 天皇誕生日	月 "	23	
24	水	金 " 1年	月	水 "	土	火	木 "	日	火	金	月 振替休日	火 "	24	
25	木 緑の募金	土	火	木 終業式 "	日	水	金 "	月	水	土	火	水 "	25	
26	金	日	水	金 "	月	木	土	火	木	日	水	木 "	26	
27	土 お稚児メイク	月 中間テスト	木	土	火	金	日	水	金	月	木	金 "	27	
28	日	火 "	金	日	水	土	月	木 メイク講習1年	土	火	金	土	28	
29	月 昭和の日	水 "	土	月 "	木	日	火	金 " 2年	日	水	土	日	29	
30	火 退位の日	木 "	日 サスーン	火 "	金	月	水	土	月	木	/	月	30	
31	/	金 "	/	水 "	土	/	木	/	火	金	/	火	31	
日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日	
休校	12日	4日	5日	9日	16日	4日	6日	4日	11日	11日	5日	15日	102日	
日・祭	6日	8日	4日	5日	5日	7日	5日	6日	5日	6日	6日	6日	69日	
授業日	10日	19日	21日	17日	10日	19日	20日	20日	15日	14日	18日	9日	192日	
行事日	2日											1日	3日	
時数	70時間	133時間	144時間	115時間	66時間	125時間	132時間	130時間	105時間	98時間	126時間	63時間		
合計数				462時間					558時間			287時間	1,307時間	
備考	お稚児メイク4/27	2年参観日 5/23, 24, 28 健康診断 5/9	1年参観日 6/13, 14, 17	学生大会予選7/13 ビューティフェスタ 7/16	美容実技試験	美容学科試験 9/1 スタコレ予選 9/16 サスーン本選9/3		芸術祭 11/12 全国学生大会 11/25 全国スタコレ11/19	美容着付師査定 12/7		美容実技試験 2/7	美容学科試験 3/1		

貸借対照表

平成 31年 3月 31日

(単位：円)

資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増減
固定資産		(62,623,947)	(66,344,777)	(△ 3,720,830)
有形固定資産		(62,613,947)	(66,334,777)	(△ 3,720,830)
土地		19,840,425	19,840,425	0
建物		41,172,409	44,797,721	△ 3,625,312
構築物		1	1	0
教育研究用機器備品		297,519	372,735	△ 75,216
管理用機器備品		8,475	28,777	△ 20,302
図書		1,295,118	1,295,118	0
特定資産		(0)	(0)	(0)
その他の固定資産		(10,000)	(10,000)	(0)
出資金		10,000	10,000	0
流動資産		(100,258,553)	(113,451,213)	(△ 13,192,660)
現金預金		99,683,233	112,315,913	△ 12,632,680
未収入金		0	209,000	△ 209,000
前払金		575,320	926,300	△ 350,980
資産の部合計		162,882,500	179,795,990	△ 16,913,490
負債の部				
科	目	本年度末	前年度末	増減
固定負債		(0)	(0)	(0)
流動負債		(20,849,883)	(30,994,765)	(△ 10,144,882)
未払金		1,661,473	1,578,031	83,442
前受金		13,969,331	24,117,600	△ 10,148,269
預り金		5,119,079	5,129,134	△ 10,055
仮受金		100,000	170,000	△ 70,000
負債の部合計		20,849,883	30,994,765	△ 10,144,882
純資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増減
基本金		(125,311,161)	(125,311,161)	(0)
第1号基本金		125,311,161	125,311,161	0
繰越収支差額		16,721,456	23,490,064	△ 6,768,608
翌年度繰越収支差額		16,721,456	23,490,064	△ 6,768,608
純資産の部合計		142,032,617	148,801,225	△ 6,768,608
負債及び純資産の部合計		162,882,500	179,795,990	△ 16,913,490

貸借対照表

平成 31年 3月 31日

(単位：円)

重要な会計方針

(1) 引当金の計上基礎

退職給与引当金は計上しておりません。

徴収不能引当金は、未収入金の金額が少額であるため計上しておりません。

(2) その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法によっております。

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法に基づく原価法によっております。

ファイナンス・リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借り主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

預り金その他経過項目に係る表示方法

総額表示によっております。

重要な会計方針変更等

該当無し。

減価償却額の累計額の合計額

60,483,795円

翌会計年度以後の会計年度において基本金組入れを行うこととなる金額 0円

その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の種類

その他の器械備品

リース料総額

2,138,400円

未経過リース料期末残

962,280円

事業活動収支計算書

平成 30年 4月 1日 から
平成 31年 3月 31日 まで

(単位：円)

		予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	科 目			
	学生生徒等納付金	(58,030,000)	(52,350,050)	(5,679,950)
	授業料	28,000,000	26,327,000	1,673,000
	入学金	1,790,000	1,190,000	600,000
	実験実習料	10,000,000	10,069,450	△ 69,450
	施設設備資金	5,660,000	3,600,000	2,060,000
	その他の諸費用	12,580,000	11,163,600	1,416,400
	手数料	(400,300)	(162,542)	(237,758)
	入学検定料	400,000	160,000	240,000
	証明手数料	300	2,542	△ 2,242
	寄付金	(0)	(420,000)	(△ 420,000)
	特別寄付金	0	420,000	△ 420,000
	経常費等補助金	(2,820,000)	(2,676,880)	(143,120)
	地方公共団体補助金	2,060,000	1,881,000	179,000
	関係団体補助金	760,000	795,880	△ 35,880
	付随事業収入	(2,820,000)	(2,443,239)	(376,761)
	補助活動収入	820,000	742,558	77,442
	附属事業収入	2,000,000	1,700,681	299,319
	雑収入	(205,000)	(189,568)	(15,432)
	その他の雑収入	205,000	189,568	15,432
	教育活動収入計	64,275,300	58,242,279	6,033,021
事業活動支出の部	科 目			
	人件費	(29,490,000)	(28,533,334)	(956,666)
	教員人件費	24,820,000	23,874,603	945,397
	職員人件費	4,670,000	4,658,731	11,269
	教育研究経費	(18,613,000)	(16,402,473)	(2,210,527)
	光熱水費	1,500,000	1,512,750	△ 12,750
	旅費交通費	1,000,000	976,650	23,350
	福利費	18,000	28,080	△ 10,080
	印刷製本費	50,000	45,113	4,887
	研究費	45,000	27,500	17,500
	修繕費	200,000	11,664	188,336
	損害保険料	75,000	36,216	38,784
	諸会費	135,000	255,000	△ 120,000
	会議費	20,000	59,045	△ 39,045
	教材・教育費	11,000,000	8,883,665	2,116,335
	教育センター納付金	400,000	488,842	△ 88,842
	行事費	350,000	310,525	39,475
	雑費	120,000	66,895	53,105
	減価償却額	3,700,000	3,700,528	△ 528
	管理経費	(19,853,700)	(20,084,454)	(△ 230,754)
	消耗品費	650,000	805,402	△ 155,402
	光熱水費	100,000	98,543	1,457
	旅費交通費	900,000	974,692	△ 74,692
	車両燃料費	120,000	214,192	△ 94,192
	福利費	10,000	3,780	6,220
	通信運搬費	500,000	519,286	△ 19,286
	印刷製本費	550,000	392,261	157,739
	修繕費	180,000	108,000	72,000
	損害保険料	350,000	275,460	74,540
	賃借料	700,000	701,329	△ 1,329
	公租公課	229,400	231,800	△ 2,400
	諸会費	240,000	119,350	120,650
	会議費	104,000	70,931	33,069
報酬委託手数料	4,200,000	4,104,000	96,000	
補助活動収入原価	6,700,000	6,496,479	203,521	
広報費	2,800,000	3,153,592	△ 353,592	
渉外費	1,100,000	1,478,348	△ 378,348	

事業活動収支計算書

平成 30年 4月 1日 から
平成 31年 3月 31日 まで

(単位：円)

教育活動収支	雑費	400,000	316,707	83,293
	減価償却額	20,300	20,302	△ 2
	徴収不能額等	(0)	(0)	(0)
	教育活動支出計	67,956,700	65,020,261	2,936,439
教育活動収支差額		△ 3,681,400	△ 6,777,982	3,096,582
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	科目	予 算	決 算	差 異
	受取利息・配当金	(10,000)	(9,379)	(621)
	その他の受取利息・配当金	10,000	9,379	621
	その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)
	教育活動外収入計	10,000	9,379	621
	事業活動支出の部			
	科目	予 算	決 算	差 異
	借入金等利息	(0)	(0)	(0)
	その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額		10,000	9,379	621
経常収支差額		△ 3,671,400	△ 6,768,603	3,097,203
特別収支	事業活動収入の部			
	科目	予 算	決 算	差 異
	資産売却差額	(0)	(0)	(0)
	その他の特別収入	(0)	(0)	(0)
	特別収入計	0	0	0
	事業活動支出の部			
	科目	予 算	決 算	差 異
	資産処分差額	(0)	(0)	(0)
	その他の特別支出	(0)	5	(△ 5)
	過年度修正額	0	5	△ 5
特別支出計	0	5	△ 5	
特別収支差額		0	△ 5	5
基本金組入前当年度収支差額		△ 3,671,400	△ 6,768,608	3,097,208
基本金組入額合計		△ 0	△ 0	0
当年度収支差額		△ 3,671,400	△ 6,768,608	3,097,208
前年度繰越収支差額		38,347,155	38,347,155	0
基本金取崩額		0	0	0
翌年度繰越収支差額		34,675,755	31,578,547	3,097,208
(参考)				
事業活動収入計		64,285,300	58,251,658	6,033,642
事業活動支出計		67,956,700	65,020,266	2,936,434

財 産 目 録

平成31年 3月31日現在

科 目	年度末
一 資産額	
(一) 基本財産	
1 土地	19,840,425
校地 北見市花月町17番15号 825.00㎡	
2 建物	
校舎 所在 北見市花月町17番15号 510.18㎡	35,080,120
校舎別館 所在 北見市花月町17番15号 382.22㎡	6,092,289
3 構築物 所在 北見市花月町17番15号 外構	1
4 教育研究用機器備品	297,519
5 その他の機器備品	8,475
6 図書	1,295,118
.	
(二) 運用財産	
1 預金・現金	
現金 現金手許有高	17,595
普通預金	9,810,802
定期預金	89,854,836
2 未収入金	0
3 前払金	575,320
4 出資金	10,000
.	
合 計	162,882,500
二 負債額	
1 流動負債	
(1) 未払金	1,661,473
(2) 前受金	13,969,331
(3) 預り金	5,119,079
(4) 仮受金	100,000
.	
合 計	20,849,883
差 引 純 資 産	142,032,617

成績の分布を表す資料

平成30年度

客観的な指標の算出方法						
必修科目の学期ごとの試験成績結果を合計し、順位を出す。						
学科名	美容本科	学年	2年生	学生数	22名	
成績の分布						
指標の数値	421～ 499点	500～ 549点	550～ 599点	600～ 649点	650～ 699点	700点
人数	0	5	6	5	6	0
下位1/4に該当する人数 5人						
下位1/4に該当する指標の数値 549点以下						

専門課程の成績評価と卒業認定に関する規程

(北見美容専門学校)

(成績評価)

第1条 各課目毎に行われる定期試験、各技術試験、在学中に行われる各種試験
その他提出物において100点満点中60点以上、もしくはA～E段階の
C段階以上で合格とする。

(A-90点以上 B-70点以上 C-60点以上 D-59点以下 E-0点)

第2条 前条に定める点数未満の場合は「追試験」を受けるものとする。
追試験の結果は100点満点中70点以上もしくはC段階以上であること。

第3条 追試験で、前条追試験の段階に達しない時は「補習」を受けるものとする。

第4条 評価は絶対数値もしくはA～Cで標記し、学年全体に対する成績位置を明記
する。

(卒業認定基準)

第5条 学則第8条に定める卒業に必要な単位(時間)数を履修し、本規程第1条に
定める成績を修めていること。

単位(時間)数不足する場合は、補講により補うこととする。

第6条 欠席時間数が、教科課目ごとに履修すべき時間数の3分の1(実習を伴う
教科課目にあつては5分の1)を超える場合は、卒業を認定しない。

(卒業判定会議)

第7条 卒業認定を行うため、卒業判定会議を年1回以上開催する。

第8条 卒業判定会議は、学校長、教頭等全教職員(2学年正副担任、1学年正副担任)
をもって構成する。

平成30年度 事業報告書

学校法人 上村学園

- 平成30年 4月 10日 始業式
11日 第53回入学式
12日 オリエンテーション
16日 北見美容協会総会
17～18日 通信教育スクーリング（15期 年4回）
18日 進学相談会（北専各連主催）
19日 「ケアハウスゆうゆう」でカット（毎月1回）
20日 山野流着装講習開始（初・中伝の部）
22日 NPO日本ネイリスト協会 ネイリスト3級検定（本校）
23日 進学相談会（ドリコム主催）
25日 まつ毛エクステコース開始
26日 「老人保健施設いきいき」でカット（毎月1回）
27日 職員会議（毎月1回）
29日 仏教会花まつりお稚児メイク
- 5月 2日 緑の募金（1年生）
1～2日 2年生振替休日
8日 進学相談会（栄美通信主催）
10日 健康診断（1年生）、勤労青少年講座着付（10回）
12日 オープンキャンパス
15日 サロン説明会、ジェルネイルコース開始
17日 ネイリスト2級検定コース開始
18日 スポーツフェスティバル（道立体育館）
北海道専修学校各種学校連合会北見支部主催
24日 進学相談会（栄美通信主催）
23～24日 アリミノ・メイク講習（1・2年）
24,25,28日 2年生参観日
28～6/1日 一学期中間試験
29日 女性センター着付教室開始（10回）
2年生年金セミナー
- 6月 2日 花嫁着付コース開始、
5日 避難訓練
6～8日 1年生参観日

- 7～8日 アリミノ・カラーリング講習（1・2年）
 9日 カットコースレベルⅡコース開始、オープンキャンパス
 19日 理事会・評議員会、進学相談会（キッズコーポレーション主催）
 30日 サスーンカットコンテスト予選（北見市民会館小ホール）
- 7月 1日 サスーンセミナー
 2～3日 振替休み
 4～11日 一学期期末試験
 17日 （公）日本理容美容教育センター主催
 全国理容美容学生技術大会 北海道予選（札幌）
 18日 2年生振替休み
 20日 山野流着装 初中伝査定
 25日 一学期終業式
 27日 オープンキャンパス
- 8月2～10日 通信教育スクーリング（17期 年2回）
 4日 オープンキャンパス
 7日 出前授業（北見工業高校）
 20日 二学期始業式
 24日 1年選択コース開始（13回）
 25日 オープンキャンパス
- 9月 3～5日 2年生研修旅行 サスーンカットコンテスト本選（千葉）
 5日 市民学園講座 着付（10回）
 6～7日 停電のため休校
 12日 体験学習（北見北光中学校）
 13～14日 アリミノ・カラーリング講習（1・2年）
 14日 体験学習（北見高栄中学校・東相内中学校）
 21日 出前授業（訓子府高校）
 22日 オープンキャンパス
 25日 通信教育15期卒業式
 2年生スニップスセミナーに参加（北見美容協会主催）
 25～28日 二学期中間試験
- 10月 1日 平成31年度入学願書受付開始
 SPC GLOBAL スタイリングコレクション旭川支部予選会
 （北見経済センター2F）
 4～5日 北海道理容美容学校教職員研修会（旭川）

1 7 日 出前授業（留辺蘂高校）、進学相談会（ドリコム主催）
22～24 日 1 年生研修旅行 全国芸術祭（千葉）
2 5 日 1 年生休み

1 1 月 2 日 学校見学（訓子府高校）
1 1 日 BEAUTY PAGEANT 技術発表会（北見経済センター）
1 2 日 振替休日、進学相談会（栄美通信 主催）
1 8 日 （公）日本理容美容教育センター主催 全国理容美容学生技術大会
2 2 日 アジア国際子ども映画祭学校交流（岡山）
29～30 日 アリミノ・メイク講習（1・2年）

1 2 月 3～7 日 二学期期末試験
5 日 職業説明会（美幌高校）
5～6 日 浴衣着付体験（北見藤女子高校）
1 5 日 山野流着装奥伝査定
2 1 日 二学期終業式

平成31年1月 9 日 2 年生三学期始業式、
1 1 日 2 年生成人のお祝い（ホテル黒部）
1 5 日 1 年生三学期始業式
2 2 日 北見美容協会新年会
2 4 日 吹雪のため休校
3 1 日 進学相談会（紋別 ライセンスアカデミー主催）

2 月 7 日 美容師資格実技試験（旭川）
9 日 オープンキャンパス
1 9 日 山野流新年交流会（札幌）
18～22 日 学年末試験

3 月 3 日 美容師資格学科試験（札幌）
7 日 第52回生卒業式
1 1 日 進学相談会（ライセンスアカデミー主催）
1 5 日 三学期終業式
1 6 日 オープンキャンパス
1 8 日 進学相談会（キッズコーポレーション主催）
1 9 日 理事会・評議員会開催
進学相談会（北専各連主催）
2 9 日 資格試験合格発表

監 査 報 告 書

学校法人 上村学園


理事長 守本朝美 殿

令和元年6月10日、当法人事務所において、平成30年度決算報告書、及び事業報告書にもとづき監査を行いました。

その結果、いずれも適正に処理されていることを認め、ここに報告書を提出します。

令和 元年 6月10日

監 事

寺 田 力 

〃 今 野 敏 明 

学校法人上村学園 北見美容専門学校
平成30年度 学校関係者評価委員会報告書

開催日時 平成30年12月14日(金) 17:00~19:00

会場 遊牧民族 1F

出席者 評価委員 北見美容協会長 川本朝生
SPC GLOBAL 北海道 旭川支部長 櫻井香織
本校出席者 校長 守本朝美
教務 金谷一恵

実施方法 (1) 学校長挨拶
(2) 本校の概要を説明
(3) 自己点検・自己評価結果の報告
(4) 委員による評価結果の審議及び意見聴取

評価結果及び改善方策 自己点検・自己評価結果表に並べて掲載

自己点検評価項目の達成及び取組状況並びに学校関係者評価

(1) 教育理念・目標 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
理念・目的・育成人材像は定められているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・校訓は理念というより行動目標になっていないか。 ・地域の少子化から将来像を描くのは難しいが何とか学校は存続を。
学校の特色はなにか	4	
学校の将来構想を抱いているか	2	

(2) 学校運営 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
運営方針は定められているか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・器に対して教員数が多いのは学生に対しては良いが、お互いに意志疎通が起きているのではないか。
事業計画は定められているか	4	
運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	3	
人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	2	<ul style="list-style-type: none"> ・各教員が各々PCを前に教務処理を進めていて効率的。
意思決定システムは確立されているか	3	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	

(3) 教育活動 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・養成施設指定規則に沿って、必要以上の教員数を確保しており授業内容も誠実に行っている。
各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達する可能なレベルとして、明確に定められているか	3	
カリキュラムは体系的に構成されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「技術」教育のレベルは高いが「技術」だけでなく「接客」をもっと意識して教えてほしい。
学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	

授業評価の実施・評価体制はあるか	4	・国家試験の合格率は素晴らしい。
育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	
資格取得の指導体制はあるか	4	

(4) 教育成果 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	4	・現代の学生気質を思うと就職率、資格取得率の高さ、退学者の少なさは教員の叱咤激励、努力の結果と考える。 ・学生に対する学外者の評価を確認する。
資格取得率の向上が図られているか	4	
退学率の低減が図られているか	4	
卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	

(5) 学生支援 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能されているか	4	・就職率の高さ、離職数から指導体制は有効に機能していると判断できる。 ・教育機能以外の面に、時間と人を割けないのはやむを得ないのかもしれない。 ・今後、卒業生の動向はしっかり把握して、業界で活躍してもらえるよう支援してもらいたい。
学校相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3	
学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能されているか	2	
学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能されているか	3	
課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	2	
学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	2	
保護者と適切に連携しているか	3	
卒業生への支援体制はあるか	3	

(6) 教育環境 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	・施設・設備は規則以上の整備がされていることは承知している。 ・今後、学外インターンシップを考えてはどうか。
学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2	
防災に対する体制は整備されているか	3	

(7) 学生の募集と受け入れ 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4	・募集活動に学外からの協力を得て遂行していることは評価。 ・他校と比べても高いことはない。逆に得られるものを考えれば、安いのでは。
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	
入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4	
学納金は妥当なものとなっているか	3	

(8) 財務 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2	・先の見通しが立ち難いことは理解できる。その中毎年度の会計処理が適切である努力を今後もお願いしたい。
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	
財務について会計監査が適正におこなわれているか	4	
財務情報公開の体制整備はできているか	3	

(9) 法令等の遵守 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	・法的な側面は問題ないのは承知している。 ・自己点検、評価をもう少し客観的に考えてみてはどうか。
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	
自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	2	

(10) 社会貢献 適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1

評価項目	評価	学校関係者評価
学校の教育資源や設備を活用した社会貢献を行っているか	3	・学校内外で、きもの着付指導や、アジア学生国際映画祭で協力していることは評価。
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	